

お 知 ら せ

参加者募集「イタセンパラの勉強会」-WEB開催-

1. 概 要

生物の保全に関心のある方を対象に「イタセンパラの勉強会」を開催します。

絶滅危惧種で国の天然記念物であるタナゴの仲間の淡水魚「イタセンパラ」について、生物多様性の保全、木曽川でのイタセンパラやその他のタナゴ類の生態と生息環境改善事業や保護増殖事業、地元での保全活動の取組を学び、イタセンパラの保全と私たちの生活との関わりについて考えたいと思います。

現在、参加者を募集しておりますのでお知らせします。 <参加費無料>

2. 開催日時・内容等

令和3年2月20日(土) 13:30~15:00

「Windows teams」を使用したウェビナー形式での開催になります。

参加者には、開催前に招待メールをお送りいたします。

内容、参加申込方法の詳細は、別紙概要書及び添付の参加者募集チラシを御参照ください。

参加者募集チラシ・申込書は、中部地方整備局HP 記者発表資料(令和3年1月発表分)

(<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/2021/01.htm>)及び中部地方環境事務所のHPトピックス(<http://chubu.env.go.jp/>)からもご覧いただけます。

3. 添付資料

- ・概要書:「イタセンパラの勉強会」について
- ・「第11回 イタセンパラの勉強会」参加者募集チラシ、申込書

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮日刊記者会、羽島記者クラブ

5. その他

- ・参加に際しては、Windows アカウントが必要となります。
- ・希少種の詳細な生息地域等の情報、個人情報保護法に抵触するもの等については、非公開とさせていただきます。
- ・発表内容について、映像の保存や音声の録音といった行為は禁止とさせていただきます。

6. 問合せ先

環境省 中部地方環境事務所	生物多様性 保全企画官	小田嶋 仁	
	野生生物課	課長補佐 水野 拓郎	tel:052-955-2139
国土交通省 中部地方整備局 河川環境課	課 長	末松 義康	
	課長補佐	川村 昭彦	tel:052-953-8151

概要書 「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は、国の天然記念物で、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づき国内希少野生動植物種に指定されている、コイ科のタナゴの仲間の淡水魚です。

日本固有種で、現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域のごく限られた場所にしか生息しておらず、生息環境の変遷、密漁など的人為的な圧力等もあって個体数が減少傾向にあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などに御理解いただき、連携した取組を進めていくことを目的として、毎年「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第11回となる今年の勉強会では、コロナ渦の昨今の状況に鑑み、初めてWEBによる開催を企画いたしました。

環境省からイタセンパラ保護協議会のこれまでの取組、国土交通省から木曽川の状況について説明します。また、木曽川でイタセンパラの調査を行っている三重県総合博物館の北村淳一氏からイタセンパラの生態、世界淡水魚園水族館の池谷幸樹氏からイタセンパラの保護増殖の取組についてお話しします。さらに、一宮市尾西歴史民俗資料館の久保禎子氏、羽島市教育委員会生涯学習課から地元での保全活動について紹介する予定です。当日は、チャット機能を使って参加者間での意見交換も行える予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」を身近に感じ、勉強できる貴重な機会ですので、ぜひ御参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書（本資料の最終ページ掲載）により、応募してください。

< 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、H30.3.5 改正）の概要 >

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者、関係機関及び地域住民が協働して、下記の活動を行っております。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

学識経験者：池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、伊藤 健吾（岐阜大学）、上原 一彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）、北村 淳一（三重県総合博物館）、久保 禎子（一宮市 尾西歴史民俗資料館）、永山 滋也（岐阜大学 地域環境変動適応研究センター）、森 誠一（岐阜協立大学 地域創生研究所）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）

関係機関：文化庁記念物課、愛知県（自然環境課、生涯学習課）、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県（環境企画課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所

国内希少
野生動植物種
(種の保存法)

天然記念物
(文化財保護法)

絶滅危惧IA類
(環境省レッドリスト)

お気軽にお申し込みください！
参加者募集

第11回

イタセンパラの勉強会

WEB

開催日：令和3年2月20日(土) 13:30~15:00

Windows teamsを使用したウェビナー形式での勉強会となります。

内 容：イタセンパラセミナー「木曽川のイタセンパラについて」

- ・「木曽川水系イタセンパラ保護協議会の活動について」

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課

- ・「イタセンパラという魚」 三重県総合博物館 北村 淳一 氏

- ・「木曽川の状況」

国土交通省 中部地方整備局 木曽川上流河川事務所 河川環境課

- ・「イタセンパラの飼育の取り組み」

世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ 池谷 幸樹 氏

- ・「地域での保全活動」 一宮市尾西歴史民俗資料館 久保 禎子氏

羽島市教育委員会 生涯学習課

定 員：100名（申込み多数の場合は抽選とさせていただきます）

参加費：無料

対 象：小学生高学年以上

※参加申込方法については、裏面をご覧ください。

木曽川にすむ希少魚「イタセンパラ」ってどんな魚？



木曽川中流部のワンド群

イタセンパラ（コイ科タナゴ亜科）は、生きた二枚貝類の鰓内に産卵する日本固有のタナゴ類の1種です。分布は濃尾平野を含む国内3地域に限られ、いずれの地域においても絶滅が危惧されており、国の天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。

かつては広く生息していたと考えられる濃尾平野の中でも、現在の確認箇所は、木曽川中流部のごく一部のワンドに限定されています。



なお、発表内容について、映像の保存や音声の録音といった行為は禁止とさせていただきます。

主催：木曽川水系イタセンパラ保護協議会

【お問い合わせ先】

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課 (tel:052-955-2139)

国土交通省 中部地方整備局 河川環境課 (tel:052-953-8151)

FAX 送付先 052-218-0667

■ 申込方法及び申込先

- ①メールの場合は、
申込内容を記載し、件名を『イタセンパラの勉強会参加申込』として、
itasenpara@kensetsukankyo.co.jp まで送信してください。
- ②FAX の場合は、
この申込書に記入して、052-218-0667 まで FAX してください。
- ③はがきの場合は、返信用の宛先を記載した往復はがきに申込内容を記載し、
下記まで郵送してください。

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-20-27

御幸ビル 5F (株)建設環境研究所
第 11 回イタセンパラの勉強会事務局 宛 **※切 2月16日(火)必着**

※応募や参加方法に関するお問合せ先：
(株)建設環境研究所 TEL052-218-0666 担当：阿部、加藤
または上記①のメールアドレスまで

■ 参加申込内容

連絡先（代表者）
① 氏名
② 住所 : 〒
③ 電話番号 :
④ FAX 番号 :
⑤ Email アドレス :
⑥ 参加人数 : 大人 名、小人（中学生以下） 名
⑦ イタセンパラ保護に関する取組への御意見 :

※参加申込に関わる個人情報は、勉強会以外には使用いたしません。

- 定員：100 名（申込み多数の場合は抽選とさせていただきます）
- 御応募いただいた方には、事務局より招待メールをお送りいたします。